

令和6年度 入学式 校長式辞

校歌の歌い出しにあるように、おだやかな陽につつまれて、また春の雨に洗われて、清らかに光り輝く若葉のような新入生を迎え、東京都立大泉桜高等学校第20回入学式を、東京都議会議員とや英津子様をはじめ御来賓の皆様、保護者の皆様御列席のもと挙行できること、校長としてうれしく思っております。

ただ今入学を許可した198名の新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんはこれまでの中学校生活で、自分を見つめて進路を考え、本校を選び自らの力で試験に合格し、入学を果たしました。まずは、皆さんが本校を目標として、目標に向けて努力し、目標を達成したことをたたえます。本当に良く頑張りました。今日から共にこの大泉桜高等学校で学んでいきましょう。

さて、入学式に当たり「夢と誓い」についてお話をします。本校の校歌の1番の歌詞に「澄んだ瞳に夢やどる」、「若き命に誓いあれ」という言葉があります。皆さんの瞳には、どんな夢がやどっているのでしょうか。高校生活で取り組みたいことや高校卒業後の進路など、さまざまな夢があるでしょう。そして、その夢をかなえるためにどんな誓いを立てているのでしょうか。今日入学の日に、夢の実現に向けて努力する、新たな誓いを立てましょう。

私の夢は、「三つのあい」のある学校を作ることです。三つのあいとは、認め合い、伝え合い、学び合いです。そして私の誓いは、大泉桜高校を誰一人取り残さない学校にすること、です。

まず、「三つのあい」うちの「認め合い」についてお話しします。認め合いとは、自分を認め他人を認めることです。自分がここにいること、他人がここにいること、それを認めることを大切にしてほしい、と考えています。まずは自分について、皆さんは中学時代に頑張ったからこそ、今日の入学式を迎えました。その自分の頑張りを、認めてください。そして他人を認めること。本校で多くの人と出会い、友達を作りましょう。部活動にはぜひ入部し、友達を、認め合う仲間を増やしてください。

そうして認め合うことが、命を大切にすることにつながると、私は考えています。命を大切にすること、他人や自分を傷つけないこと、いじめを許さないことに、認め合いはつながります。学校生活の中で、お互いを認め合い命を大切にしましょう。

2番目は「伝えあい」です。自分の気持ちや興味関心などを言葉で、絵や立体などの視覚表現で、伝えましょう。本校には、廊下に、授業や部活動で制作した多くの作品が展示してあります。体育祭や文化祭などの行事では、言葉で、絵で、スポーツやダンスで、皆さんの思いを表現してください。

伝えるだけでなく、受け止めることも大事です。人の思いを受け止める努力、分か

り合おうとする心の在り方に磨きをかけていきましょう。それは必ず、平和な社会の実現につながります。伝えあうことの大切さと平和について、高校生活で学んでいきましょう。

そして、お互い学びあい自分を磨き高めていきましょう。去年の秋の学校説明会で、私はこんなお話をしました。

校内に、美術の授業で取り組んだキャラクターデザインの作品が飾ってあります。キャラクターという一つのアイデアが、平面になり、立体になり、ストーリーができ絵本になる、その発想の豊かさ、表現の広がりや「サクラの学びの広がり」と説明しました。また、同じ生徒が、キャラクターデザインとは違ったタッチの絵を描いています。同じ平面作品でも違った表現ができる、それを私は「サクラの学びの深まり」という言葉で伝えました。本校で学びを広げ、深める先輩や友達の姿、作品を謙虚に受け止め、自分の学びとしてください。そして皆さんが上級生になったときには、後輩の手本となるよう、本校の学びと伝統を下級生に伝えてください。

このようにして皆さんが、お互いを認め合い、思いを伝え合い、学び合うことで、私は、本校を「誰一人取り残さない学校」にしていきたいと思います。そして皆さんも、誰一人取り残さない学校をつくるために協力してください。誰一人取り残さない学校を作る努力は、皆さんが活躍するこれからの社会、他者との対話をとおして多様性を受け入れる社会を生き抜く力につながります。

もしあなたが、取り残されそうになったら、困ったら、悩んだら、先生に相談してください。共に考え解決していきましょう。新入生の皆さんも安心して本校での学びと生活を充実させてください。そして卒業の日には、未来を切り開く力、未来の社会を生き抜く力を身につけて卒業していくことを期待しています。

保護者の皆様、本日入学式を迎えましたことをお慶び申し上げます。御家庭でも、新入生が自らの力で、自分の進路を実現させたことを、たたえていただきたいと思えます。そして引き続き、御家庭でも生徒をあたたく見守り、本校へ毎日送り出してくださいよう、お願いいたします。御家庭と学校で共に手を携え、生徒の生活と成長を支えていただけよう、お願い申し上げます。

結びとなりますが、教職員一同、新入生を暖かく、時には厳しく励まし、支え、未来を切り開く力をはぐくむとともに、私たちが新入生から学びあうことを誓い、式辞といたします。

令和6年4月9日

東京都立大泉桜高等学校 校長 尾崎 肇